年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（２年次用） 教科　　保健体育　　科目　保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象年次組：第　2 年次　441 組～　445 組

教科担当者：（441組：加藤）　（442組：中山）　（443組：加藤）　（444組：中山）　（445組：蟹井）

使用教科書：（ 大修館書店　「新高等　保健体育」　　）

教科　保健体育科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元【思春期と健康・性意識の変化と性行動の選択】 【知識及び技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯の各段階における健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について，習得した知識を基に，心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために，性に関わる情報を適切に整理している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には，生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	B 単元【結婚生活、妊娠・出産と健康、家族計画】 【知識及び技能】 ・結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結婚生活と健康について，習得した知識を基に，結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて，保健・医療サービスの活用方法を整理している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には，生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	C 単元【加齢・高齢化社会への取り組み】 【知識及び技能】 ・中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つこと，地域における交流をもつことなどが関係することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・加齢と健康について，習得した知識を基に，中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には，生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

2学期	D 単元【働くことと健康】 【知識及び技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は，作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・労働と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について，習得した知識を基に，生活の質の向上を図ることと関連付けて，課題解決の方法に応用している。 【学びに向かう力、人間性等】 労働災害と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は，自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには，汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また，環境衛生活動は，学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され，それに基づき行われていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	E 単元【健康を支える健康づくり】 【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は，大気汚染，水質汚濁，土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし，健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について，事例を通して整理し，疾病等のリスクを軽減するために，環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は，自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには，汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また，環境衛生活動は，学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され，それに基づき行われていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

3学期	F 単元【安全な社会計画】 【知識及び技能】 ・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること，さらに，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には，正しい手順や方法があること。また，応急手当は，傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから，速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに，それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1 合計 38